

## 私の意見

市政などに対する意見や要望を係までお寄せください。



関根トキユキさん  
(下茨・会社員・36歳)

交通ルールを知らず  
危ないお年寄り

私は毎日、車を運転する仕事をしています。運転していて怖いと思うのは、お年寄りが交通ルールをよく知らないということです。

老人車を押して信号待ちしている姿をよく見かけますが、右も左もなかったり、友人同士で話しをしながら二列に並んで止まったり、道の真ん中を歩いていたりします。これらは特に農村部に多いようです。

家族の人たちも「何度教えても直らないので、言っても無駄では」となどと、あきらめています。子供たちにはうるさく言っても、お年寄りには強く言えないこともあります。でも、運転する者にとっては、とても危ない存在なのです。老人会などの集まりで、交通規則などを話し合う場はないのでしょうか。

## 運転者が増え加害者になる危険も

### 高齢社会と交通事故

下次の関根さんから係に「交通ルールを知らないお年寄りが多くて危険」という旨のお便りが届きました。「高齢化社会」といわれる現在、全国的にお年寄りの交通事故が大幅に増えており、ここにも高齢化の波が押し寄せてきています。また「交通弱者」の立場にあるお年寄りのドライバーが最近増え、これからは加害者となるケースも多くなると考えられます。白根警察署管内でも事故が増えているため、警察署や交通安全協会などでは対策に力を入れています。

### お年寄りの事故は全体の15%

白根警察署管内の昨年の交通事故件数は百八十四件でした。このうち、六十歳以上のお年寄りの事故は二十八件で、全体の一五・二%を占めています。また、今年九月末現在、すでに二十四件(死亡事故一件)発生しています。

毎年、歩行中や、自転車、バイクに乗っているときなどに事故に遭い、被害者となるケースが目立ちます。原因も、一時停止せず安全確認をしないまま飛び出したことなどによるもので、基本的な交通マナーがしっかり身に付いていないれば、事故を起こさずにすんだものがほとんどです。

自動車を運転しているときの事故も、一昨年十三件、昨年四件起こっています。現在、市内の六十歳以上の運転免許取得者は千三百六人です。社会の高齢化に伴って年々増えてきており、交通弱者

### 市民が見かけた

#### 危険な事例

●十月十七日、朝。電報電話局の交差点で

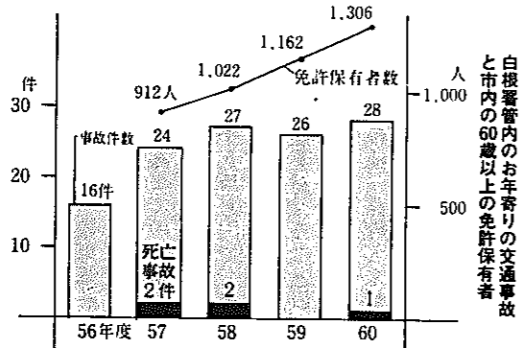
老人車を押しながら交差点に近づくおばあさんがいた。信号は赤だったが、そのおばあさんは信号を見る様子もなく、そのまま歩いていった。

右側から来た車がスピードを落とすので無事渡り終えたが、運転手の気づくのが遅れたら重大事故になったろう。

●十月十七日、朝。国道(蕨町の横断歩道のない地点)で右側から車の来ないのを確認したおじいさんが、ゆっくりと国道を横切り始めた。その間に左側から車が近づいてきたためおじいさんはセンターライン上で立ち止まってしまった。やがて右側からも車がやってきた。おじいさんは、車が止まって



9月28日の長寿交通安全大会では、参加した60歳以上のお年寄り150人が、歩行者、自転車、バイクの部門に分かれ、交通安全指導員や自転車指導員から手ほどきを受けていました



と、白根警察署と地区交通安全協会、市老人クラブ連合会が九月二十八日、白根中央自動車学校で初めて行ったものです。

### ●六十五歳以上のバイクと車の免許取得者にレター作戦

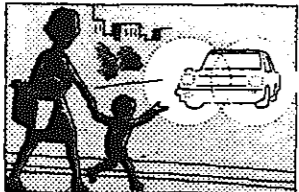
「安全運転を心がけてください」と、レター作戦を展開しました。

### 家族で守ろう「交通弱者」

以上、紹介しましたが、お年寄りを交通事故から守るには、やはりドライバーの皆さんが運転に気をつける一方、家庭で家族みんなが温かい思いやりを持って、交通ルールなどを教えるようにしていきたいものです。

### 夕暮れ時の死亡事故、白根郊外で多発

バイクが、止めてあった車に衝突死亡という事故が、今年に入ってから白根警察署管内だけで四件(うち高校生二件)起こっています。このような事故はこれまでも発生してはいたが、今年



夕暮れ時は、刻々と闇に向かっている刻むので、私たちがまだ明るいうちから、と感じる以上に、実際には暗い場合が多いです。ライトは早めにつけましょう。

はすでに九件と急激に増えました。その約半数を占める白根署管内の四件は、いずれも郊外の見通しのよい直線道路で起こったものです。「まさか車など止まっていなだらう」という気の緩みが事故を招いたのでしょうか。

このうち二件は、夕暮れ時に発生しています。止まっていた車はいずれも違法駐車で、車幅灯や尾灯もついていませんでした。これからますます日没が早まります。夕暮れ時はライトを早めにつけてスピードを控えるとともに、駐車する際には危険のない所に止めましょう。

### シートベルトを着用しないと違反点一点

十一月一日から、すべての道路で「運転者がシートベルトを着用しない」「助手席同乗者に着用させない」で自動車を運転した場合、

一部の例外を除いて運転者に違反点一点がつけます。詳しくは白根警察署交通課(☎372・2121)へお尋ねください。

白根警察署  
交通課長  
長谷川八郎さん

### 安全確認は普通の人以上に

年を取ると視力や聴力、運動神経が劣ってくるので、安全確認は普通の人以上に良くやってもらわなければなりません。それに、大半は免許を取ったのがずっと昔で、その後、法令や規則が変わっていますね。

今回初めて、長寿交通安全大会を行ったわけですが、おおぜいの人を1か所に集めるのは大変です。今後は、それぞれの地域の老人クラブなどで行うシステムが出来上がればと思います。また、70歳以上で元気に車を運転する人もいれば、信号の見方もわからない人がいます。これらの人を分けた集まりが欲しいですね。

今までのお年寄りのほとんどは、バイクや耕うん機の免許しか持っていませんでしたが、現在普通免許を持っている人が、やがてはみんな老人になるわけです。若者の事故も増えていますが、これからますます高齢者の安全対策を重点的にやっていく必要があります。